

岳地帯に向かった兵士たちはもつと悲慘だった。高山の寒さに凍え、敵の攻撃に晒され、ウエアクに逃げ帰った者はごくわずか、基地の前にとどろくことそのまま斃れた。従軍した兵士たちはラバウルから腰にスタ袋を巻いたポロポロ姿でウエアクに移ってきた者たちで、再度の戦闘に従軍できる状態では無かったぞ。

語り部自身は触れなかったが、この戦争は、極度の飢えのあまり、日本兵同士、そして現地の人々を対象に、人が人で無くなる姿も生んだ。

語り部は将校付きだったため作戦



地域から平和を
語り部から聞いた戦争の真実

岳地帯に向かった兵士たちにはもつと悲惨だった。高山の寒さに凍え、敵の攻撃に晒され、ウエアクに逃げ帰った者はごくわずか、基地の前にたどり着くとそのまま斃れた。従軍した兵士たちはラバウルから腰にスタ袋を巻いたポロポロ姿でウエアクに移ってきた者たちで、再度の戦闘に従軍できる状態では無かったそうだ。

語り部自身は触れなかったが、この戦争は、極度の飢えのあまり、日本兵同士、そして現地の人々を対象に、人が人でなくなる姿も生んだ。

語り部は将校付きだったため戦会議を漏れ聞く機会もあった。ヘボ将棋の駒の動かし方を論じるような、実にいい加減な会議だった。こんな将校たちや、それよりもっといい加減であったに違いない国の最高指導者たちによって、何十万人という日本人が、現地の人々を蹂躪しつつ、凄惨な戦争で斃れていったのだ。

戦争の現実を知らない平和ボケの安倍政権は「祖国のために斃れた者」を賛美する。しかし日本軍兵士のほとんどは、身の不運を嘆き、国の指導者を恨みつつ、飢えや病氣や暑さや寒さの中で、故郷や家族への思いを残しつつ無念のうちに死んでいったのが真実だ。

日本を再び戦争が出来る国にしようとする集団的自衛権行使の容認の愚行は許せない。それと一体の特定秘密保護法を廃止に追い込もう。

待機児解消、介護の仕組み充実、放射能健康調査を
 新年度にあたって 流山市の重要課題をどうする

待機児解消、介護の仕組み充実、放射能健康調査を

在宅の切り札と期待される24時間介護・看護サービス(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)も普及しません。国の狙いは特養などを増やさず介護予算を抑制すること。民間事業者もノウハウを持たず、利益が上がりずで、参加者が増



地域の母親たちは基金を作り、エコー検査の機械を買い、優れた専門医の協力を得て、自主健診を始めました。市内の医師や医療機関からもエコー検査が必要との声が出ており、近隣市では市の責任で実施されようとしています。流山市は、健康診断・調査を実施すべきです。

市内の小中学校の現状は？ 雨漏り、割れ窓、剥げた床…

1月20日と21日の両日、教育福祉委員会の6名の議員で市内の小中学校の視察を行いました。来春に予定される新しい小中併設校の開校で、既存の学校との間に施設・設備の面で大きな格差が生じることが懸念されていることから企画された視察です。

●子どもが使いたがらないトイレは改善を

視察の中心に置かれていたのはトイレです。改修されたトイレは、清潔感があり、採光も考慮され、スペースも広く、洋式便器も多く用いられ、不快感を覚えず快適に使用や清掃ができると思えました。特に新しく設置された多目的トイレは、障がい児・者には便利、快適でしょう。

問題は、同じ学校の中でも改修済みとそうでないトイレが混在し、多目的トイレの数が多い学校とそうでない学校があること、そしてそのどちらもまだ全く手つかずの学校が残されていること。既存の学校間でも格差が気になる点ですから、新設校と既存校との間では、さらに強く格差が印象づけられることは間違いありません。

●校舎の傷みがひどく危険な箇所も多数

壁、床、天井、階段、窓ガラス等々、傷みが著しいまま放置されている現状も明らかになりました。

壁クロスの剥がれ、亀裂が入っている校舎。床のタイルが剥がれたまま放置されている校舎。壁や天井の亀裂、割れた窓ガラスをセロハンテープやガムテープで補修している教室や体育館もありました。

天井も雨漏りの染みが広範囲に広がり、屋上のアスファルトや防水シートの傷みが想定される校舎。体育館でも雨漏りが見られました。

階段は、滑り止めの金具が浮き上がったたりめくれたりしているのをテープで無理矢理に押さえている学校もあり、子どもたちが躓いたらどうする

のかと気になりました。

プールサイドのアスファルトの剥がれやめくれも、足を引っかける危険性があります。

校舎の外部に取
ガムテープで留められた階段滑り止め
り付けられた鉄製の非常階段の踊り場部分で、何度も塗装がくり返されたのか、鉄板のさびと一体化して分厚くめくれているところもありました。子どもたちがつま先を引っかけるには十分な出っ張りとなっており、非常階段がこんな状態では災害時に危険です。

●著しい設備・環境格差は教育の場にふさわしくない

新設校が、新しい建築技術を用い、改善された設備機器を導入し、デザインも趣向を凝らしたのものになることはやむを得ないでしょう。しかしあくまでも、公平や平等が強く配慮されなければならない公立の教育施設という枠の中での話しであるべきです。

流山市は、「母になるなら流山市」などの標語で、市外からの子育て世代の流入を増やそうとしています。それは良いのですが、いやくも公教育に、そのための人寄せパンダの役割を押しつけるのは筋違い。「宇宙基地」とか「ショッピングセンター」「レジャーランド」などと評されるデザインが、果たして学舎にふさわしいものかどうか疑問です。

同じ流山市内の公立学校に通う子どもたちが、通学区が違っただけで、片や割れた天井や窓ガラスをセロハンテープなどで補修している学校、他方は新調びかびかで便利で快適で周囲からもうらやましがられる学校というのでは、公立の教育が掲げる平等の建前と大きな矛盾を生じさせることになります。

●既設小中学校の補修・改修をもっと急ぐべき

議会での追及や教育福祉委員会の視察により、市も重い腰をあげ始めました。市民や議会が声を上げ、格差是正のためのさらなる取り組みの強化と加速を求めていく必要があります。



ガムテープで留められた階段滑り止め

同じく1月23日に、東京都中野区の「中野区地域支え合い活動の推進に関する条例」の視察を行いました。流山市でも9月議会に同種の条例案が提案されようとしており、その検討のためです。

●プライバシーへの配慮、地域との丁寧な合意形成

条例の特徴ですが、行政が作った援護が必要な者の名簿は、民生・児童委員、警察・消防署に提供することが可能です。ただし、名簿に登載することに不同意の者は載せない配慮がなされています。

高齢者の場合、70歳以上の単身者および75歳以上の者だけの世帯の者は、同意者のみの名簿を作り、民生・児童委員、警察・消防署に提供することが可能です。

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、愛の手帳を持つ人も同意した者の名簿を作成。高齢者の場合と同じく、民生・児童委員、警察・消防署に提供。

高齢者、障がい者とも、上のように本人の同意が前提。町会・自治会に名簿提供をする場合は、町会などの要請があった場合。提供を受けた自治会などは、守秘義務を負い、名簿管理者や名簿閲覧者を指定しなければならず、情報管理の研修も行われ、違反した者には30万円以下の罰金も命ぜられます。

中野区では、条例制定に先立って3年をかけて準備を進めてきました。かつて行政が音頭をとった仕組みがうまくいかなかったこと、町会・自治会とのコンセンサスづくりの重要性などを痛感し、丁寧な議論、説明、合意形成を行ってきたそうです。だからこそ条例制定後、名簿提供を求め、見守り活動などに活かそうとする自治会などが順調に増加しているのでしょう。

中野区では、民生・児童委員の活動がかねてよりしっかりと取り組まれてきたそうです。都市化が進



み、若い世代の流動も激しい中野区ですが、他方で長い歴史を持った街として、民生委員や町会・自治会などの活動にも蓄積と実

績があるようです。

●行政責任によるバックアップがあってこそ市民力も発揮

見守りを行う町会などと行政との協力関係も、しっかり組織されています。

行政内に「地域支え合い推進室」というカナメとなる組織を設置、その下に役所の部に対応する形で4つのくすこやか福祉センター>が置かれます。さらに4つのセンターの下に役所の課に対応する形で「地域支援分野」と「地域ケア分野」の2つの担当を設置。

「地域支援分野」は区内15箇所の区民活動センターと結びつき、さらに「地域部門」は区内8箇所の地域包括支援センター、区内2箇所の障害者相談支援事業所と結びついて



います。行政は組織だった形で、地域支え合い活動への支援、公的サービスの提供調整、24時間365日の地域からの異変通報等の受付、要支援者に対する訪問調査、見守り対象者名簿の提供等々を行っているのです。

●他自治体からの借り物でなく流山独自の協働を

流山市で同様の条令を導入しようとする場合、何よりも重要なことは、やはり自治会や民生・児童委員や社会福祉協議会などとの丁寧な話し合い、合意形成です。開発により新しく街が形成されつつある地域では自治会も十分に整っておらず、また自治会加入率の低い地域もあり、地域住民の理解や協力を得るには、丁寧な話し合いが不可欠です。

また見守りや支援が必要なお年寄りなどに対する対応を、地域住民やその組織に委ねる際にも、行政としてのバックアップ体制づくりが重要です。行政が責任を持つ組織的支援があってこそ、住民自身による支え合い活動も、生き活きとし、継続したものになることを、中野区の取り組みは物語っています。

お年寄り・障がいを持つ方への見守りは災害時には命の綱

東京中野区の見守り体制は？ 行政の支援で念入りな準備